

平成28年8月

学校法人 東放学園
東放学園高等専修学校 殿

平成28年度 学校関係者評価報告書

東放学園高等専修学校
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価委員

【関連業界】

村山 公士 学校法人 東放学園 東放学園高等専修学校、専門学校東京アナウンス学院の校長を歴任
佐藤 正隆 有限会社 夏書館 代表取締役

【卒業生】

田嶋 幸弘 ダンサー、NPO法人 Wa-shoi 理事長

2. 事務局

畠田 慎 東放学園高等専修学校 校長
小野 喜彦 学務管理部 部長
松島 司 教務教育部 部長
橋本 光一 入学広報部 部長
山本 茂 学務管理部
佐藤 ひとみ 学務管理部
田塚 友弘 教務教育部
池田 美絵 入学広報部

3. 学校関係者評価委員会の開催状況

平成28年 6月24日(金) 16:30～18:00 東放学園高等専修学校 5A教室

4. 学校関係者評価結果

※別紙のとおり

※別紙

4. 学校関係者評価結果

【評定内容】

- 4 : 適切に対応している。課題の発見に積極的で、今後更に向上させるための意欲がある。
- 3 : ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。
- 2 : 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。
- 1 : 全く対応しておらず不適切である。学校の方針から見直す必要がある。

I. 平成27年度重点目標について

重点目標 1 について 生徒募集の強化

コメント	評定
広報活動に注力し、出願者数の増加という結果が出たものの、併願受験による最終的な入学者数の減少がみられます。競合他校との差別化や分析が急務に思われます。紙媒体・WEB媒体などと募集イベントの連携を強化し、さらなる充実を図るなど、策を講ずる極めて大事な時期に来ていると思われます。	3

重点目標 2 について 中途退学の抑止と卒業率の向上

コメント	評定
教職員の懸命の努力に関わらず、ドロップアウト率の増加という結果になっています。3学年すべてに三者面談を実施するなど、個別のケーススタディによる対処を検討する必要があります。	3

重点目標 3 について 体系的進路指導の強化と進路決定率の向上

コメント	評定
進路指導に関して大いに努力している様子がうかがえます。進路は大きく分け「デビュー」「就職」「進学」とそれぞれに全く異なる対応が必要であり、一段の検討の余地があると思われます。教職員だけではなく卒業生や業界企業に理解ある人物による進路指導も効果があると思います。	3

II. 評価項目別取組状況について

基準1 教育理念・目的・育成人材像

コメント	評定
学園理念のもとに、東放学園高等専修学校独自の方針を打ち建てる必要があると思います。芸術教育・職業教育などの、普通高校にはない高等専修学校の特長を、もっと明確にすべきだと思います。	3

基準2 学校運営

コメント	評定
人事制度や情報システムなど、形のあるところの整備は進んでいると思われます。個人情報の管理に関しては一層の研究が必要であると考えます。	4

基準3 教育活動

コメント	評定
世の中がめまぐるしく変わる中で、社会の要求にも応え、同時に身に着けた素養が未長く有効な教育内容を決めることは容易でないことです。専門分野の実践的な教育内容の見直しなど、日々邁進すべきことであると考えます。また、外部に目を向けた学外活動などをさらに増やしていくことも課題だと思います。	3

基準4 学修成果

コメント	評価
それぞれの進路分野に応じて、進路指導はかなりきめ細かく対応できていると思います。小学校や中学校の頃は不登校だった生徒が、本学で学ぶ間に立派に立ち直っているケースもあることは大いに誇るべきです。また、資格取得の教養科目を受講する指導も必要であると思います。	3

基準5 学生支援

コメント	評価
クラスアドバイザー、進路指導担当者やキャリアサポートセンターなど、進路指導に関してはかなり充実しています。さらに業界との強いパイプを活用すれば、支援につながると思います。	3

基準6 教育環境

コメント	評価
教室や設備・機材など充実していると思います。ホールや一般教室の設備のより一層の充実も、検討の対象だと思います。	4

基準7 学生の募集と受入れ

コメント	評価
中学校へのアプローチ、情報収集の多様化に伴う広報活動の努力は、評価できます。さらに今後を見据えて、動画などのコンテンツを使用した広報対策も有効だと思います。	3

基準8 財務

コメント	評価
基本的に学園の法人本部でまとめていますが、学校単位の決算を必要とするものもあると思われます。少子化の影響が懸念されます。	3

基準9 法令等の遵守

コメント	評価
学内的には遵守事項は厳しく守られていると思います。学校関係者評価などを積極的に行っていることは、大変評価すべき点であると思います。今後も個人情報の問題などに注意しながら、法令を遵守し、運営を行ってください。	4

基準10 社会貢献・地域貢献

コメント	評価
卒業生との連携や地域の祭りや商店街との連携、周辺地域への施設提供など、外部に貢献かつアピール可能なことがさらにあると考えます。また、今後の福祉社会・高齢化社会に向けて、在校生の社会貢献も視野に入れることが今後の課題であると思います。	3

学校関係者評価委員会を終えての感想

少子化が進む中、教育へのニーズの変化が著しく、新しいビジネスモデル、学校モデルの構築が必要になってきました。そんな情勢で、学校のきめ細かい努力は、強く感じます。高等専修学校の強みを、より外へ発信すべきであると思います。

以上